

# Eclipseのインストール

## ダウンロード

[Eclipseのダウンロード](#)を参照してください。

## インストール

Eclipseにインストール作業は必要ありません。圧縮ファイルを解凍したら、好きな場所において使うことができます。置く場所で推奨する場所は以下のとおりです。

推奨する場所	推奨しない場所
C:\Program Files\eclipse	デスクトップ
C:\Program Files\eclipse\eclipse.exe	マイドキュメント
C:\eclipse	

## 起動

「Eclipseをインストールした場所」にある「eclipse.exe」をダブルクリックすることで、起動することができます。

## 起動しない場合

Javaの古いバージョンが入っていたときなど、「JVM terminated. Exit code=1」等のエラーが出て起動できないことがあります。

### 対処方法

1. eclipse.exeへのショートカットを作る。(どこでもよい)
2. ショートカットのプロパティを開く。
3. 起動コマンド(リンク先)に次のテキストを追加する。

```
-vm "「JDK1.6が入っている場所」\bin\javaw.exe"  
(-vmと次の引数の間にスペース。)
```

1. ショートカットから起動する。

対応できない場合は、オブプロスタッフへ相談ください。

## ワークスペースの設定

Eclipseは初回起動時に、実際のファイルを保存するワークスペースの位置を聞かれます。そのまま「My Documents」に入れてもよいのですが、単に「ws」と入れることで、「Eclipseをインストールした場所\ws」に設定することができます(を推奨します)。

## プラグインのインストール

Eclipseオブプロパックには、オブプロプラグインがすでに入っています。  
Macで分割インストールする人は、オブプロプラグインを導入する必要があります。

## ■ オブプロプラグイン

1. Eclipseをシャットダウンする.
2. ダウンロードしたプラグイン「hoge-hoge.jar」を, 「Eclipseをインストールした場所¥plugin」の中に入れる
3. Eclipseを起動する.

## ■ 日本語プラグイン

1. Pleiadesを解凍し, Readme.txtをよく読む.
2. Readme.txt中, eclipse.iniファイルは, eclipseの起動アイコンを右クリックし, 「パッケージの内容を表示」し, Contents/MacOSへ行くこと. また, javaagents:を指定するところで, インストールの2の説明では相対パスで記述するよう指示しているが, 絶対パスでないと動かないので, 絶対パスで指定する. (実は, 下の方にも書いてあります.)

(参考: [http://d.hatena.ne.jp/solitary\\_shell/20070713/1184357177](http://d.hatena.ne.jp/solitary_shell/20070713/1184357177))